

今回は、市内小2～中3を対象に実施している認知能力検査NINO(以下、「NINO」と表記)を開発した研究所の方に記事を書いていただきました！泉南市の保護者の方々のためだけに書いていただいた特別版です！ぜひご覧ください！

NINOをご家庭と学校のかけ橋に

子どもたちは、生活のほとんどの時間を家と学校ですごします。「ご家族」と「先生」が良いチームになれば、子どもたちにとって、とても安心で心強いはず。そのための道具としてNINOを使っただけならば嬉しいです。



NINOは「すべての子どもに必要な支援を届ける」ことを目指して作られました。ですから、先生とご家庭が、あるいはお子さんとご家族が、対話し、より分かりあうためのきっかけとして使っただけならば本望です。

見て、使ってください！～ご家庭用の結果資料～

学校から結果が返却された際には、以下の点に注目して見てください。

◇1. 学習の基礎になる5つの力(①の枠)

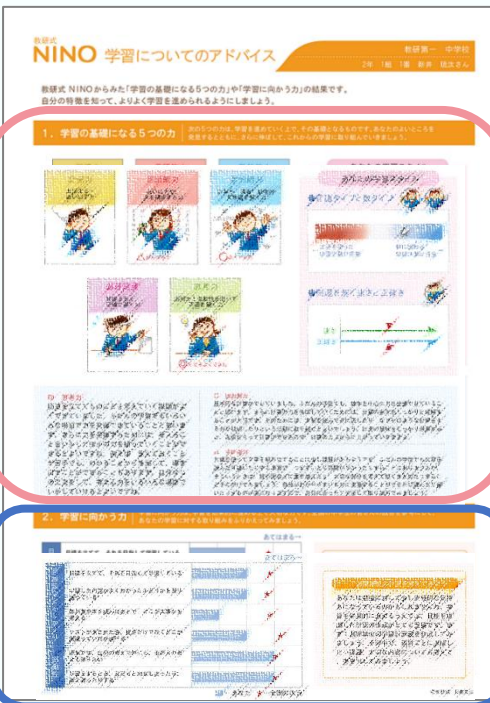
ついがんばってほしいところが気になってしまうかもしれませんが、まずは、よかったところに着目してほめてあげてください。よいところを生かしていくことは、楽しく学習することにつながります。

◇「あなたの学習スタイル」にも注目

「数一言語」と「速さー正確さ」のバランスが示されています。もし、バランスに大きく偏りがあれば、お子さんが学習に悩みを感じているかもしれません。ぜひお子さんや先生とこの内容をもとに話してみてください。悩み解決の糸口につながるかもしれません。

◇2. 学習に向かう力(②の枠)

「普段どのように学習しているか」というアンケートです。日頃の学習に関する質問とそれに対するお子さんの回答、そしてアドバイスが書いてありますので、一緒に読んでみてください。また、ぜひ、日頃のがんばりに目を向けて、今できていることをほめてあげてください。「ほめられて嬉しい」と「できて楽しい」が、学が意欲を生み出す2大栄養素です。



NINO…子どもの「認知能力」を知るために

子どもに向いている運動競技を考えると、一人ひとりの子どもの下のような情報があれば、とても便利ではないでしょうか？

- ①筋力(パワー)
- ②持久力(スタミナ)
- ③敏捷性(すばやさ)
- ④調整力(身のこなし)
- ⑤柔軟性(しなやかさ)



この情報があれば、「筋力と調整力があるAくんは砲丸投げが良さそう」などと考えられます。逆に、子どもが「この競技で強くなりたい！」と言った時には、それならもっと「持久力」をつけた方がいいね、とアドバイスができます。

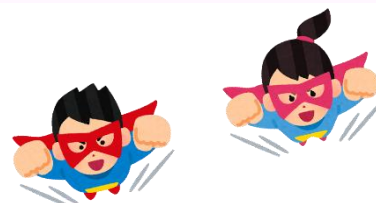
これを頭の中で働く力に置きかえたものが「認知能力」です。認知能力は、人が何かを考えるときに頭の中で働く力で、NINOでは特に大切な5つの力を測っています。

ご家庭の皆様も、普段からこの5つの力を使って、お仕事や家事育児、日常の問題を解決されているはずです。



上の説明を見て、ご自分の中では、どこがいちばんの強みか、逆にいちばんの弱み・苦手はどこか、考えてみてください。もし、ご自分の強みや弱みがお子さんと一緒にあったら、ご自分のいままでの工夫がお子さんにも使えるかもしれませんので、ぜひ教えてあげてください！

学校では、この結果を参考に、「どんな授業をしたらもっとわかりやすくなるか」とか、「この子には、こういう教え方をするとよさそうだ」ということを考え、日々の教え方や一人ひとりの子どもとの接し方の工夫などに役立てています。



泉南市教育委員会 教育部 学力向上対策室
〒590-0505 大阪府泉南市信達大苗代 374-4
TEL: 072 (483) 3673